



寄贈された検温器の前に立つ阿古市長(中央)と鈴木会長(右から3人目)ら大和高田ロータリークラブのメンバー10日、葛城市柿本の葛城市役所新庁舎

大和高田RCが 葛城市へ7台寄贈

創立60周年事業

感染対策に検温器を

大和高田ロータリークラブ(鈴木勝士会長は10日、「創立60周年事業贈呈式」として葛城市に非接触式検温器7台を寄贈した。

同市柿本の葛城市役所新庁舎で寄贈式を実施。

同クラブ創立60周年事業実行委員会の甲村侑男委員長は「これからも『新しい時代のはじまり』をテーマに60年の歩みを振り返り、奉仕活動を通じて地域から信頼されるクラブを目指します」とあいさつ。

鈴木会長は「地域に接して地域の要望・状況を把握して効果的な奉仕活動として、安心安全の一環として非接触型検温器を寄贈する事ができた。これからも

『うつさない、うつらない』の3密に気を付けてください」と呼び掛けた。

阿古和彦市長は「コロナ

は大災害、本日頂いた検温器は今まさに、安全対策上、必要不可欠です」と謝辞を述べた。

同クラブは「品格と行動力のあるクラブ」の理念で奉仕活動を行い、3月に創立60周年を迎える。